平成24年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	厚生委員会				
参 加 委 員	佐藤清正	土屋勝浩	小林隆利	金井忠一	池上喜美子
	三井和哉	土屋陽一			

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

「子育でするなら上田市」を標榜する上田市にあって、市民が一丸となって子育でを 応援する体制を更に充実させるために、「地域の子は地域で」という合い言葉の中で、地 域コミュニティの支援が活発な先進的な取り組みの沼津市を視察する。

2 実施概要

<u> </u>					
実 施 日 時		視察先	静岡県沼津市		
平成25年1月28日 午後1時30分~午後3時		担当部局	市民福祉部福祉事務所子育て支援課		
視察事業名	子育て支援について				
報告内容	 子育て支援について 1 視察先の概要 静岡県東部地方の拠点都市、人口 20 万余、市の中央を流れ野川を中心に街並みが連なり、みかん、茶、野菜の栽培、駿河の豊富な水産資源を背景とした水産業や干物などの水産加工んである。気候は温暖で、四季折々の風光と多彩な自然環境にでいる。 2 視察先の特徴 (子育て支援策の特徴)ア 主任児童員を核とした地域活動としての子育て支援イ 行政は地域や施設等の手の届かない部分への支援ウ 行政と地域・市民との連携した支援エ 児童虐待予防も含め児童家庭相談や母子保健との連携し支援 3 視察事項について (取り組みの現況)ア 9カ所の子育て支援拠点施設イ 17カ所の地区センターなどを会場にした移動型支援「ぴよ」(うち2カ所は病院で小児科に入院している子への支援) 				

- ウ 屋外や商業施設での開催や身近な公園等で開催する「おひさま広場」
- エ 市民要望に応える形で駅前のイトーヨーカ堂跡地の商業 ビル内に子ども図書室「パタポン」(拠点支援センターであ る「沼津っ子ふれあいセンター内にあり、約 3000 冊の絵本 や児童図書の閲覧と貸し出しやボランティアによる絵本の 読み聞かせ等実施)
- オ 絵本を通しての子育て「プレポン」(親子絵本ふれあい事業) 「ブックスタート」「ブックステップ」「ブックフォロー」の 3つの事業。
- カ 市民皆で子育て支援を目指す「沼津子育でボランティア遊び隊」

1 上記イの「ぴよぴよ」は、専用の車「ぴよぴよ号」に玩具を積んで、地区センター等の会場を利用して、地区ボランティアの協力を得ながら、親子での遊びや育児講座、育児相談などを開催しているもので、地域で子育てという視点が先進的で、親子が来るのを待つ場所と、こちらから出かけるという取り組みが上田市でも活かせればと考える。

2 上記工、オ はいずれも本に親しむ事業で、「ブックステップ」 は、2歳児歯科健康診査の時に絵本をプレゼントするもの。

「ブックフォロー」は子育てサポートキャラバンぴよぴよ開催日に会場内に絵本コーナーを設けるものです。「ブックスタート」は上田市でも実施しているが、子どもの心を育み、親子の絆をより深めることのできるこの時期に、さらに充実した本に親しむ事業を展開すべきだと考える。

3 上記力について、上田市も「子育てサポーター」を養成して市 民のボランティアによる子育て支援を行っているが、沼津市の 特徴は、中学生以上を対象にしていること。核家族化や少子化 の中でボランティアとして子育て支援に関わる事は、とても意 義のある事だと考える。上田市でも土壌があるのだから取り組 めるのではないか。

考 察

(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)

平成24年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	厚生委員会				
参 加 委 員	佐藤清正 三井和哉	土屋勝浩 土屋陽一	小林隆利	金井忠一	池上喜美子

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市には国民保養温泉地に指定されている丸子温泉郷があり、特に鹿教湯温泉では クアハウスやリハビリを行う病院が整備され、市民の健康増進や医療に利用されている。 市民や観光客に対する温泉を生かした健康づくりに取り組んでいる伊東市を視察し、温 泉資源のさらなる利活用による健康づくりの可能性について調査を行う。

2 実施概要

2 実施概要					
実 施 日 時		視察先	静岡県伊東市		
平成25年1月29日 午前9時30分~10時30分		担当部局	観光経済部観光課		
視察事業名	健康保養地づくり事業について				
報告内容	1 視察先の概要 ・面積 124 km ・人口 71,400人 ・財政力指数 0.87 ・700 本ある源泉から湧出する温泉は全国 4 位 ・旅館、民宿、ペンション、寮・保養所など約 650 軒の宿泊施設 2 視察先の特徴 ・年間 650 万人が訪れる温泉観光都市で、観光が主産業 ・若者が出て行き、リタイヤした高齢者が入ってくるので、高齢化率が 30%を超える。 3 視察事項について ・平成 10 年度から、厚生労働省の補助事業で「健康保養地づくり事業」が推進された。 ・伊東市は平成 11 年 3 月に「伊東市健康保養地づくり計画」を策定するとともに、翌年 2 月に「健康回復都市宣言」を行うなど、温泉と自然を生かした健康保養地づくりを市の施策の重要な柱と位置づけ、関係団体による「伊東市健康保養地づくり実行委員会」を中心に関連事業を推進している。				

当初は観光客の誘客のため取り組んだ事業で、観光課が主管だったが、議会で「市民が健康にならないのにおかしいのでは」との議論があり(糖尿病、肝疾患など生活習慣病による壮年期の死亡率が高く、平均寿命は静岡県平均を下回っている)、一時企画課に移した。現在は事業ごとに担当課が受け持ち、観光課が取りまとめている。

具体的な取り組みとしては、観光客用に「里山体験・農林業行体験」「地場産品を生かした食メニューの開発」、市民に向けては「健康祭り」、「オレンジビーチマラソン」、両者用に「遊歩道・散策路整備」「まちなかの足湯整備」などを行っている。

平成 18 年に経済産業省のモデル事業として、健康をテーマとした 3 泊 4 日の滞在型プログラム「健脳健身スロースティ」のモデルツアーを実施した。

参加者からは好評だったが、メニューを多くすると金額が上がり、 定着しなかった。

考 察

(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)

一つの事業にいくつもの役割を与えようとするとまとまりのない ものになるので、当市においても目的別、例えば「観光客誘客のため のプログラム」と「市民のためのプログラム」、といったようにはっ きり分けて考えることが必要である。



平成24年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	厚生委員会				
参加委員	佐藤清正		小林隆利	金井忠一	池上喜美子
	三井和哉	土屋陽一			

委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市には市立の保育園 31 園と幼稚園 2 園の 33 園があるが、少子化に加え建替えが必要な古い園舎があるなど、やがて園舎の統廃合が行政課題に上ると考えられる。加えて行政のスリム化のため、市営から民営化することも視野に入れる必要がある。

2 実施概要

実 施 日 時		視察先	静岡県伊東市		
平成25年1月29日 午前10時30分~11時30分		担当部局	教育委員会教育部幼児教育課		
視察事業名	市立保育園の民営化について				
報告内容	2 視察先の特徴 ・年間 650 万人が ・若者が出て行き が 30%を超える。 3 視察事項につ ・平成 17 年 3 月 ・児通園施設1 園 ・特に保変の除去 成、不可保育園 現在認可保園がで	4 km ^d ,400 人 87 かシシ れり おり おり ででででででででででででででででででででででででででででで	・保養所など約 650 軒の宿泊施設 光都市で、観光が主産業 た高齢者が入ってくるので、高齢化率 革大綱」により保育園 3 園、心身障害		

父母の会、父母の会連合会、園長会、職員組合など<u>各種団体と何回</u> も意見交換会を開催。

19年3月議会に「市立保育園の民間委託をしないことを求める請願」 が提出されたが不採択。署名数3万5千筆。

一気に民営化せず、2年間は指定管理とし、運営方針のすり合わせ、 運営状況をみることで激変緩和をし、保護者の不安を和らげること とした。

指定管理者を公募により募集。

保護者から「指定管理者選定委員会」に参加したいとの要望があり、 選定委員会から指示された事項を検討するため、「指定管理者選定 検討会議」を発足。

応募法人からのプレゼンテーション等を実施し、また「指定管理者 選定検討会議」からの評価意見を参考に、副市長を長とする「指定 管理者選定委員会」で候補者を選定。既に市内で1園運営している 法人を指定管理者に決定。

園児及び保護者の不安を解消するため、保育内容を継承する引継ぎ を、指定管理者移行の前年度に月一回程度、受託法人、当該園、市 で協議を行った。

当該公立保育所職員完全引き揚げに伴う園児及び保護者の不安を 解消するため、共同保育を実施。

正職員は他の公立保育園に異動し、臨時保育士等は民営化予定の保育園にすべて異動した。臨時職員を対象に法人が職員募集し、希望者は雇用することとした。

指定管理者移行に伴い、保護者、地域住民からの要望及び苦情解決を円滑に図るため、保護者、地域行政区、法人職員、市の四者で協議会を設置し、指定期間中の2年間に、月1回程度会議を開催した。指定管理から認可保育所への移行について、指定管理に関する仕様書を遵守し、保護者との信頼関係の構築、安全・安心な保育を行っているかを評価するため、主管課長、保護者、地域行政区、民生児童委員、保育士などを委員とする「指定管理者評価委員会」を設置。チェックリストにより評価を行い、また当該保育所全世帯への保護者アンケートを行い、その結果も含め指定管理者運営状況を委員会として評価し市長に報告。(保護者の8割以上は満足との結果)平成23年4月1日から1周、民間保育所

平成23年4月1日から1園、24年4月1日から1園、民間保育所に移行。

保育所民営化成功の要諦は、______部分のように保護者・地域住民の不安を取り除き、民営化に納得してもらうための、きめの細かい活動である、と理解しました。

また、指定管理の2年間が経過すると、園児や保護者もかなり入れ替わるので、拒否反応もなくなる、との言葉が印象的でした。

考 察

(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)